



JSX

Joe Satriani Signature All-Tube Amplifier

取扱説明書



株式会社 サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222

<http://www.soundhouse.co.jp> [shop@soundhouse.co.jp](mailto:shop@soundhouse.co.jp)

## はじめに

この度は Peavey 社製 JSX をお買い上げいただき誠にありがとうございます。製品の性能を十分に発揮させ、末永くお使いいただくためにご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

### ご使用になる前に取扱説明書をお読みください。

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。異常がある場合は販売店にご相談ください。
2. 感電防止の為、使用中は内部部品に触れないでください。
3. 各装置の設置を完了させるまでは電源を入れないでください。
4. ヒューズを交換する場合、必ず先に電源プラグを抜いてください。
5. 40℃を超える環境で本体を使用することはお止めください。
6. 本製品は屋内使用専用です。屋外では使えません。また、雨天や湿気の多い場所での使用はお止めください。火災や感電の原因となります。
7. 本製品はラジエーター、ストーブ等の熱源から離して使用してください。
8. 水などの液体を本体表面にこぼしたり、本体内部にかけたりしないようご注意ください。
9. 電源ケーブルが踏まれたり、挟まれたりしないよう注意してください。
10. メーカーによって供給された付属パーツ以外は使用しないでください。
11. 本体は通気性の良い所に設置し、周囲に可燃物や爆発物を置かないようご注意ください。また、使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないでください。
12. 本体の掃除をする際は乾いた布のみを使用してください。
13. AC100V、50/60Hzにてご使用ください。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくは正規代理店に連絡してください。無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

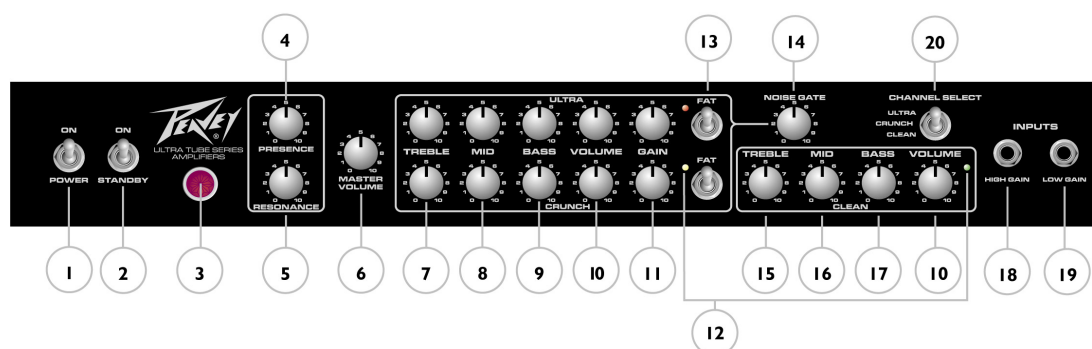
# JSX

All-Tube Guitar Amplifier

## 基本仕様

- ・出力：120W（RMS）4Ω、8Ω、16Ω
- ・12AX7 プリアンプ真空管×3
- ・EL34 パワーアンプ真空管×4
- ・プレゼンス&レゾナンスコントロール搭載
- ・ノイズゲート回路搭載
- ・エフェクトループ装備（フットスイッチで ON/OFF 可能）
- ・レベルコントロール付きライン出力
- ・キャビネットインピーダンススイッチ（4,8,16Ω）

## フロントパネル



### POWER SWITCH：電源スイッチ (1)

電源スイッチです。電源が入ると(3)が点灯します。

### STANDBY SWITH：スタンバイスイッチ (2)

スタンバイモードに設定します。真空管が温まっている状態を保ちますが、アンプ操作は出来ません。ON にするとアンプはアクティブモードになります。

### POWER STATUS LAMP：パワー・ステータス・ランプ (3)

電源がアンプに供給されている際にこのランプが点灯します。

**PRESENCE : プレゼンス (4)**

高周波数帯域をブーストします。

**RESONANCE : レゾナンス (5)**

低周波数帯域のロールオフを補正することができます。

**MASTER VOLUME : マスターボリューム (6)**

全体のボリュームレベルを調節します。チャンネル間で音量のバランスを取った後、このコントロールで全体出力レベルの増減をします。時計回りに回すとレベルが上がり、反時計回りに回すとレベルが下がります。

**TREBLE : トレブル (7)**

このコントロールでウルトラ/クランチチャンネルの高域調整を行います。アクティブコントロール（シェルビングタイプ）で 12dB のブーストまたはカットを可能にします。

**MID : ミッド (8)**

このコントロールでウルトラ/クランチチャンネルの中域調整を行います。アクティブコントロール（ピーク/ノッチタイプ）で 12dB のブーストまたはカットを可能にします。

**BASS : ベース (9)**

このコントロールでウルトラ/クランチチャンネルの低域調整を行います。アクティブコントロール（シェルビングタイプ）で 12dB のブーストまたはカットを可能にします。

**VOLUME : ボリューム (10)**

各チャンネルの全体ボリュームレベルを調節します。

**GAIN : ゲイン (11)**

ウルトラ/クランチチャンネルの入力ボリュームレベルを調節します。時計回りに回すとプリアンプ・ディストーションとサステインが増します。

**CHANNEL ACTIVATION LED : チャンネル・アクティベーション LED (12)**

アクティブ状態のチャンネルが点灯します。ウルトラチャンネルは赤、クランチチャンネルは黄、クリーンチャンネルは緑色に点灯します。

**FAT SWITCH : ファットスイッチ (13)**

ウルトラ/クランチチャンネルの低域を増強します。例えば、ギターのボリュームコントロールを下げるなど、クリーンなサウンドの状態でも効果が現れます。

**NOISE GATE : ノイズゲート (14)**

ウルトラ/クランチチャンネルで共有しノイズゲート回路の利き具合を調節します。コントロールを時計回りに回すとノイズが減少します。ゲインの設定を低めにしているときは、ノイズゲートの設定を上げ過ぎないようにして下さい。

**TREBLE : トレブル (15)**

クリーンチャンネルの高域の調整を行います。

**MID : ミッド (16)**

クリーンチャンネルの中域の調整を行います。

**BASS : ベース (17)**

クリーンチャンネルの低域の調整を行います。

**HIGH GAIN INPUT : ハイゲインインプット (18)**

通常のエレキギターに使用します。ハイゲイン入力の出力はローゲイン入力より、6dBほど大きくなります。

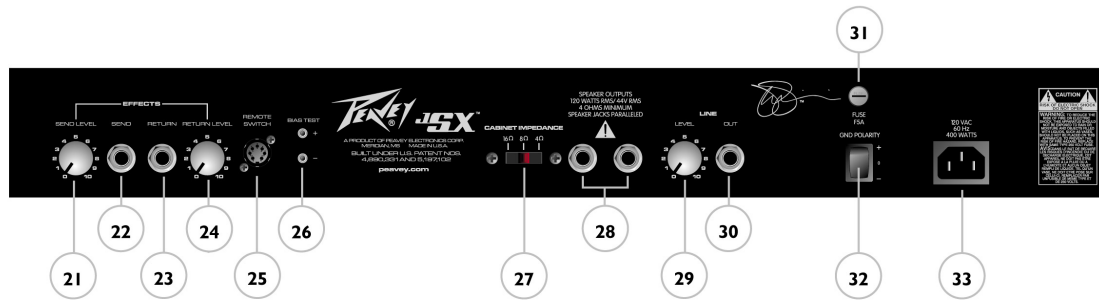
**LOW GAIN INPUT : ローゲインインプット (19)**

ハイゲイン入力につながると音が歪んでしまうような高い出力を持つギターを接続する時に使用します。両方の入力端子を同時に使用すると、ローゲインのレベルになります。

**CHANNEL SELECT SWITCH : チャンネル選択スイッチ (20)**

この 3 ポジション・スイッチでチャンネルの選択をします。選択されているチャンネルは LED (12) で表示します。フットスイッチでチャンネル選択することもできます。詳細はマニュアルの FOOTSWITCH の章を参照してください。フットスイッチを使用する際には、アンプ側の CHANNEL SELECT SWITCH は必ず ULTRA の位置にあることを確認してください。

## リアパネル



### **EFFECTS SEND LEVEL : エフェクト・センド・レベル (21)**

外部エフェクトやシグナル・プロセッサへ送る信号のレベルをメモリ (0~10) が付いたコントロールで調整します。時計方向へ回すと送信される信号のレベルが上がり、半時計周りでレベルが下がります。ノイズを最小限に抑える場合はエフェクト・センド・レベルをできる限り高く設定する必要があります。一般的に SEND と RETURN レベルは正反対に設定します。EFFECT SEND LEVEL が低い場合、EFFECT RETURN LEVEL (24) を高く設定します。音量にブーストが必要な場合は 2 つのコントロールの設定を上げてみてください。

### **EFFECT SEND/EFFECT RETURN : エフェクトセンド/エフェクトリターン (22/23)**

外部エフェクターやプロセッサに信号を送り、エフェクト処理された信号をリターンへ戻す為のセンド/リターン用のフォン端子です。モノラル・フォンプラグのシールドケーブルで SEND から外部エフェクト・プロセッサの INPUT へ、そしてエフェクト・プロセッサの OUTPUT からギターアンプのエフェクトリターンへ戻します。フットスイッチをご使用の場合、EFFECTS SELECTOR (37) スイッチでエフェクトループの ON/OFF が可能です。

### **EFFECTS RETURN LEVEL : エフェクトリターンレベル (24)**

外部エフェクトやシグナル・プロセッサから戻る信号のレベルをメモリ (0~10) が付いたコントロールで調整します。時計方向へ回すと戻る信号のレベルが上がり、半時計周りでレベルが下がります。一般的に SEND と RETURN レベルは正反対に設定します。EFFECT SEND LEVEL が高い場合、EFFECT RETURN LEVEL を低く設定します。

### **REMOTE SWITCH : リモートスイッチ (25)**

付属のリモートフットスイッチを接続する時に使用する 7 ピン DIN 端子です。必ず電源を入れる前にフットスイッチを接続して下さい。詳細は本マニュアルのフットスイッチの章を参照してください。

**BIAS TEST TERMINAL : バイアステストターミナル (26)**

パワーアンプの真空管のバイアスを計測・調節するためのものです。バイアス調整に関しては専門の技術者にご相談ください。

**CABINET IMPEDANCE SWITH : キャビネットインピーダンススイッチ (27)**

スピーカーに適したインピーダンスを選択します。2台のスピーカーのインピーダンスが同じ場合、その値を1/2に設定します(例: 16Ωのスピーカーを2台接続する場合は8Ωに設定、8Ωスピーカーを2台接続する場合は4Ωに設定してください)。

**SPEAKER OUTPUTS : スピーカー出力 (28)**

スピーカーキャビネットをアンプにする際には接続には、スピーカー専用ケーブルをお使いください。

**LINE OUT LEVEL : ライン出力レベル (29)**

このつまみでLINE OUT 端子(30)から出力される信号のレベルを調節します。LINE OUT から接続するスレーブパワーアンプやスピーカーシステムのレベルと SPEAKER OUTPUT(28)から接続されるキャビネットのレベルのバランスを調整することができます。

**LINE OUT : ライン出力 (30)**

このモノラルフォン端子はポストパワーアンプ信号を出力し、この音色を保ちながら他のアンプ/スピーカーシステムをドライブすることが可能です。

**FUSE : ヒューズ (31)**

警告: ヒューズは必ず電源コードをコンセントから抜いてから取り替えるようにしてください。ヒューズはホルダーの蓋の中に入っています。必ず同型で同値のものと取り替えるようにしてください。

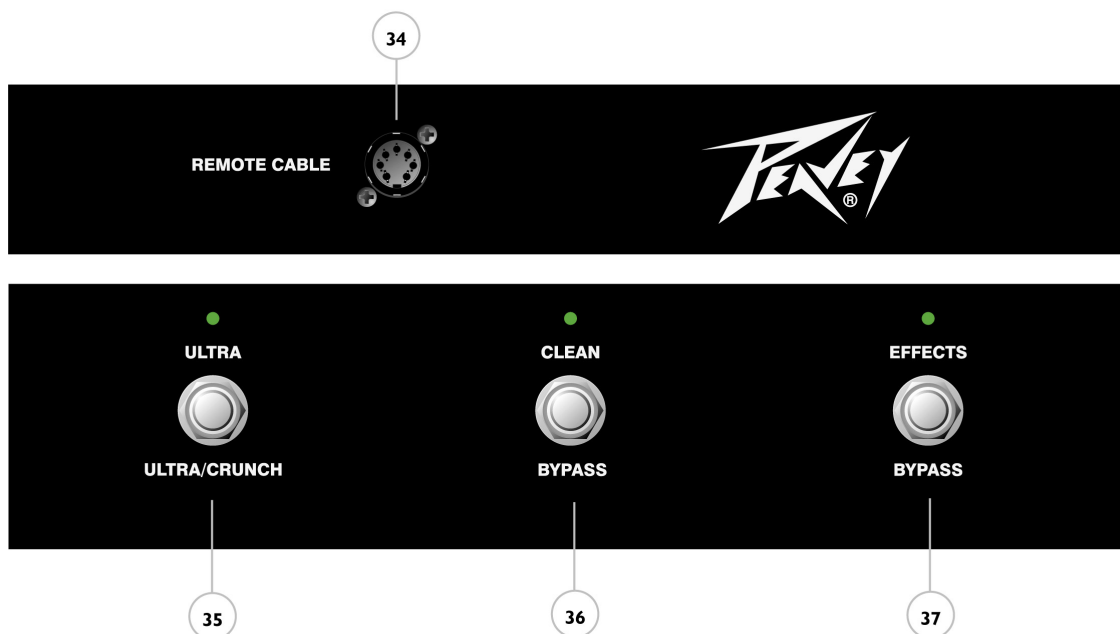
**GROUND POLARITY SWITCH : グランド切替スイッチ (32)**

このスイッチは3段階のスイッチで、通常中央の位置(0)にしておきます。グラウンドスイッチが中央位置に設置してある状態でスピーカーからハムノイズが出ている場合には、スイッチを+または-のどちらかにしてハムノイズを小さくします。

**IEC MAINS CONNECTOR : IEC 電源コネクタ (33)**

メインコードはAC コンセントに繋ぐ前にアンプに接続してください。

## フットスイッチ



### **CABLE CONNECTOR : ケーブルコネクター (34)**

7ピン DIN 端子に付属の専用ケーブルを接続し、アンプの REMOTE SWITCH(25)に接続してください。フットスイッチのケーブルは必ずアンプの電源を入れる前に差し込んでください。

### **ULTRA/CRUNCH SELECTOR : ウルトラ/クランチ切替 (35)**

このスイッチでアンプのウルトラとクランチの切り替えを行います。ULTRA が選択されている時はボタン上の LED が点灯し、消灯している場合は CRUNCH になります。尚、この切り替えを行うには CLEAN SELECTOR(36)がバイパスモードになっていることが必要です。

### **CLEAN SELECTOR : クリーンセレクター (36)**

このスイッチで ULTRA/CLEAN SELECTOR(35)の位置に関わらず CLEAN CHANNEL が選択されます。CLEAN が選択されている状態ですとボタン上の LED が点灯します。

### **EFFECTS SELECTOR : エフェクトセレクター (37)**

このスイッチでアンプのエフェクトループ(21-24)を有効にします。エフェクトループが有効の際はボタン上の LED が点灯します。

## 製品仕様

プリアンプ部

3 x 12AX7

パワーアンプ部

4 x 6BQ5/EL84

定格出力

120W RMS (16、8、4Ω)

クリッピングレベル

120W RMS (16、8、4Ω)

@5% THD、1kHz、120VAC

周波数特性

50Hz～20kHz (+/-3dB @90W RMS into 8Ω)

消費電力

400W、100VAC、50/60Hz

寸法、重量

29.7H X 67.3W x 27.9Dcm、23.6kg

## 保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

### お買い上げ日より1年間有効

#### ■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適当（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

#### ●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

#### ●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

#### ●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。



